

# こだま

VOL.4. March 2010



撮影：(西田賢司) / 場所：礼文島から見た利尻富士

**表紙を飾る写真を募集しています！！**

当面は院内職員からの募集とします。  
なお、応募された写真は返却いたしませんのでご了承ください。

## Contents

- ① 地域生活移行支援システム
- ② 支援の実際について
- ③ 精神科作業療法
- ④ Care～手荒れ
- ⑤ 介護SOS
- ⑥ お知らせ

### 静和会石井病院 病院理念

- 医療の本質を追求し、科学的、創造的かつ主体性のある医療を目指します。
- 「思いやり」「いたわり」「優しさ」を常に忘れず、豊かな人間性で患者さんの主体性を尊重した医療を実践します。
- 保健、医療、福祉との連携を密にし、地域住民に愛され信頼される医療チームを構築します。
- ノーマライゼーションの視点に立ち、社会のニーズに応じた医療を提供します。

# 地域生活移行支援システム

入院中から在宅生活を見据えた支援を目指して

石井病院 副院長・看護部長 石川 順子

病気と付き合いながら地域で生活しておられる方は大勢いらっしゃいます。

時には入院治療が必要なこともあ  
るでしょう。しかし、病状が良くな  
り、在宅生活でも療養できるとなれ  
ば当然退院となります。

2004年9月に国から示され  
た「精神保健医療福祉の改革ビジョ  
ン」のなかで、これからは「入院医  
療中心から地域生活中心へ」との基  
本方針が示されました。

しかし、国の政策を見るまでもな  
く、在宅で療養できるまでに回復し  
たら、自宅で過ごしたいと願うこと  
はごく自然なことであり、そのため  
の支援を行うのは保健医療福祉に  
携わる者としては当然のことだと  
考えています。

当院では以前からも退院に向け

た援助をさせていただいておりま  
したが、これからは今まで以上に、  
在宅で自分らしく生活したいと願  
う患者様の療養環境を入院中から  
整え、安心して退院していただける  
ように、また、退院後も引き続き安  
定した療養生活を送っていただけ  
るようにと、平成二十一年九月に  
「地域生活移行支援システム」を立  
ち上げ、現在取り組んでいるところ  
です。



医師や看護師はもちろんのこと、  
患者様に関わる院内のあらゆる職  
種、時には保健所や役場及び地域の  
在宅サービスを提供されている

方々とも連携をとりながら、患者様  
やご家族が希望される退院後の生  
活を可能な限り実現するために、ご  
本人やご家族と一緒に話し合いな  
がら進めております。取り組み始め

てまだ半年しか経っておりません  
が、患者様の主体性を大切に、あ  
らゆる可能性を信じ、あえて「地域  
生活移行支援システム」と名乗らな  
くても、この支援が当たり前のこと  
として当院に定着しますよう努力  
して参ります。

## 支援の実際について

医療相談室

精神保健福祉士 菊地 裕香

地域生活移行支援事業の流れと  
しては入院時、ご本人様や家族様か  
ら、入院に至る経過やどのような環  
境の中で生活していたのか等生活  
状況を伺うところから始まります。  
その中で解決したい事又は生活の  
しづらさとなっている障壁を取り  
除くことが必要な場合はご本人様

を主体として院内各職種をはじめ、  
各関係機関とも連携しながら計画  
を立て進めていきます。

これらの動きを移行支援事業と  
呼びますが、その中で一つの方法・  
手段として「退院前訪問」というも  
のも積極的に取り入れています。退  
院前訪問は在宅生活にスムーズに  
戻ることが目的で、患者様の外泊訓  
練の様子確認、施設見学の同行、各  
関係者への引継ぎや支援体制の確  
立等必要に応じて活用しています。

患者様の自己実現に向けての応  
援団です。何でもする便利屋ではあ  
りませんが、退院に向けて柔軟な対  
応でサポートしていきたいと考えて  
います。いつでもお気軽にご相談  
ください。



# Care

～ケア～

## 手荒れ

この時期、手荒れで悩んでいる方も多いと思います。ご家庭での対処法として、手洗いは必要な皮脂を落とさない様に水で洗うのがベストです。手洗い後は良く水気を拭き取り、保湿クリームを塗り綿手袋をはくと効果的です。さらに荒れが激しい方は、綿手袋の上にビニール又はプラスチック手袋をはくと、なお一層の効果があります。就寝時に試して下さい。

次に反射療法についてお話しします。

足裏に全身の臓器や器官に応じた「反射区(つぼ)」がありますが、指にも同様の反射区があると考えられています。

例えば、親指部分は「頭部」またどの指も第1関節より先の部分は「副鼻腔」です。そして、指と指の間の水かき部分は「目」の反射区です。仕事や家事の合間にハンドクリームを塗って、マッサージや指圧をしてみてもはどうでしょうか。手荒れのケアにもなりますよ。

第3病棟 准看護師 蜂谷 了子



作品の展示



(作業の様子)

## 精神科作業療法

みなさんこんにちは。作業療法士の高瀬です。私が石井病院にお世話になって9ヶ月がたち、作業療法士として一年生の私がここまでこれたのは、皆様のご協力のお陰だと考えております。

現在の精神科作業療法では手工芸・映画・カラオケなどを持ちいて生活のリズムの改善、対人交流技能の改善・修得、達成感・自信の回復などを目的に行っております。しか

し、一般的には作業療法のことはあまり知られていないのが現状です。日本作業療法士協会の定義には

「作業療法とは、身体または精神に障害のある者、またはそれが予測されるものに対して、その主体的な生活の獲得をはかるため、諸機能の回復、維持または開発を促す作業活動を用いて行う治療、訓練、指導および援助を行うことをいう」とあります。私はこの定義でいう「精神に障害のある者」にアプローチしているわけですが、ほとんどの作業療法士

は身体障害領域の分野にすすみ日常生活が円滑に進むよう機能訓練を行っています。

作業療法を知っていただくにはまだまだ説明が足りませんが今後、身体機能面でも患者様へサービスが提供できるようスキルアップしていきたいと考えております。

## 介護SOS

介護SOS

### 「排泄介助」

自宅のトイレを利用して排泄をしていきたいという思いは、介護が必要な状態になっても、共通の思いだと思います。

排泄介助は、本人の残存能力を最大限に活かしながら行うことが良いでしょう。

そのためには、定期的に声かけをして排泄誘導をしたり、安全な移動ができるように介助を行なうことが大切です。

また、住宅環境の整備(和式トイレから洋式トイレへの改修。手すりの設置など)、ポータブルトイレの活用なども考えられます。

住宅改修、福祉用具の活用については、介護保険内で給付を受けられる場合がありますので、担当のケアマネジャー等にご相談ください。

排泄の不安をなくすことで、生活意欲の増加にも繋がることと思います。



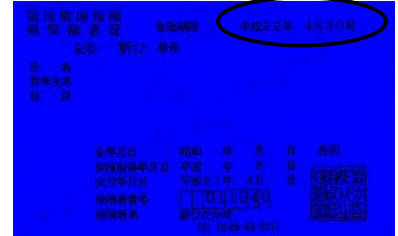


## 国民健康保険の更新時期です！

現在加入している国民健康保険の有効期限が平成 22 年 4 月 30 日までとなっている方が多くいらっしゃると思います。

更新手続きはお早めにお済ませください。

医療機関へ受診する際には、更新した保険証を必ず提出してください。



## コミュニティハウスしずない新装オープン

コミュニティハウスしずない（理事長 石井隆司）の増改築工事が終了し、平成 22 年 1 月 26 日に新装オープンいたしました。コミュニティハウスしずないは、精神障がい者の共同作業所として平成 7 年 4 月に新設し、平成 18 年 10 月には NPO 法人として認可されました。さらに平成 21 年 4 月に障害者自立支援法の就労継続支援 B 型の基準を取得し、石井病院と共に地域の精神障がい者の自立に向けたお手伝いをしております。

主な作業内容：野菜生産・販売、メール便配達、皮製品の製作・販売、オムツ販売・配送など。

所長：大高敏久 / 電話：0146 (42) 0780



増築開所式の様子



### 精神科外来 \*\*\*\*\* 外来担当医師 \*\*\*\*\* ※平成 22 年 4 月より

受付時間		月	火	水	木	金	土
午前	8:45~12:00	林裕	松野弘	林裕	石井隆司	札医大医師	休診
午後	1:30~3:00	林裕	札医大医師	松野弘	石井隆司	松野弘	休診

### もの忘れ外来

毎週月曜日 午後 1:30~3:00	石井隆司
-----------------------	------

予約制です。  
ご予約は当院の地域医療連携室にて承ります。 Tel 0146 (42) 3031

### 内科外来

第 2・4 金曜日	
午後 1:30~3:00	石井 幸司

石井病院ホームページに「こだま (Vol.1~)」掲載しております。是非！アクセスしてみてください。

編集／発行 平成 22 年 3 月 15 日発行  
医療法人社団 静和会 石井病院 編集委員会  
〒056-0022

日高郡新ひだか町静内高砂町 3 丁目 3-1

TEL(0146)42-3031 FAX(0146)43-3389

ホームページ：<http://www.ishii-hp.jp/>

編集委員長 蜂谷 了子

### 編集後記

三月に入って少しかく暖かくなっては喜ばしいが、気温の変動が激しい時期でもあります。インフルエンザが下火にはなっているようですが、体調には十分気をつけて下さい。

編集委員 村田 薫



医療法人社団 静和会

石井病院